
贈り物にこめられた意味は？

三国同盟

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

贈り物にこめられた意味は？

【Nコード】

N30760

【作者名】

三国同盟

【あらすじ】

ここは、忘れられた楽園幻想郷。

ある日図書館にやって来た魔理沙を見てまた盗みに来たのかと思っ
たパチエリーだが？

（前書き）

はじめまして、三国同盟といたします。

様々な作品をよんで思わず書いてしまいました。

この作品の元ネタは自分の好きなゲームのある場面をもとにしています。

初作品でしかも筆才もないので、ひどい出来ですがよろしくお願ひします。

ここは、幻想郷
忘れられた楽園

これは、その楽園でのある少女達の話である

…また来たのね

騒がしくなる音で読んでいた本をテーブルに置く少女、彼女の名前はパチエリー・ノービレッジ、この紅魔館にある図書館の主である。全く、困ったものだわ

この騒がしい音の原因はわかっている。そろそろこつちにたどり着くわね。そう思っていた矢先よう、と気軽に挨拶する声が聞こえた。挨拶した少女の名前は霧雨魔理沙、普通の魔法使いである。彼女がここに来るのは珍しいことではない。彼女はこの図書館にある本を借りにやって来るのだ。最も彼女は無断で本を借りていくのでパチエリーにしてみれば、ただの泥棒にしか思えないのだが。

「それで、今日も本を盗みに来たのかしら？」
無表情で呟くと

「ひどいな、あたしはただ借りてるだけだぜ。」
と陽気に返してきた。その返事に思わずため息をはいしてしまう。彼女の借りるは自分が死ぬまで借りるのだから、パチエリーにしてみれば盗まれるのと同じである。

「まあいいわ、持っていきなさい。」
ため息まじりに魔理沙につげると

「どうしたんだ？いつもは追っ払おうとするくせに？」
「勘違いしないで、いつもいつもするのが面倒なだけよ。2、3冊なら目をつぶってあげるわ。」

「じゃあ、遠慮なく……といたいけど、今日は本のために来たん

じゃないからな次の機会にするぜ。」パチエリーは少し驚いた。魔理沙がここに来るのは、大抵この本のためである。別の用事とはなんだろうかと思っっていると

「ほら」

すると魔理沙がなにかを渡してきた。それは白いブローチだった。目立った加工はないが、逆にそれがこのブローチの魅力を引き立てていると感じた。

「これは？」

「そいつは忍冬の花を混ぜて作った物だ、まあお前にはなんだかんだいって世話になってるしそのお礼だ。」

照れくさいのか魔理沙の顔は赤くなっていた。

「あ、ありがとう。」

まさかお礼をされるとは全く思っただけだったパチエリーは戸惑いながらもブローチを受け取った。

「じゃ私は帰るぜ。」と、まだ照れくさいのか魔理沙は顔が赤いままですごいスピードで帰っていった。

翌日パチエリーはいつものように本を読んでいた。ただし、少し違うのは首につけた白いブローチである。

「パチエリー様、紅茶のおかわりはいかがですか？」

とこの図書館で自分の手伝いをしてくれる小悪魔がやって来た。

「いただくわ。」

と本を読みながら答えると

「あれ？パチエリー様そのブローチどうしたんですか？」

と小悪魔が聞いてきたので、昨日のいきさつを話すと

「へ〜ロマンチックですね。」

と目を輝せながら言ってきた。

何がロマンチックなんだろうと思っっていると

「だって忍冬で確か花言葉は『愛の絆』とか『友愛』とかそんな意

味ですよ。」

と答えてきた。

え……

とパチエリーは混乱した、魔理沙は花言葉を知っていて混ぜたのだからか、それとも知らずに？もし知ってたらどんな思いで渡してきたのだろうか。

次に会ったら聞いてみようかしら、でも聞くのも野暮なのかしらね？と悩むパチエリーだった。

(後書き)

最後まで読んでくれてありがとうございます。

自分も書きたいという思いだけで書いた作品ですが読んでもらって嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3076o/>

贈り物にこめられた意味は？

2010年10月15日23時53分発行